

## 第 31 回 (2022.09.11) 向け (理論添削問題) 第 1 回

提出期限 : 8 月 22 日  
返却(メール) : 8 月 29 日

※提出期限を過ぎても、できる限り添削いたします。

各 150 字以内で答えなさい

3 科目すべてを記載していますが、添削は受講中の科目だけを対象にさせていただきます

前回出題の論点ははずしていますが、それ以外は同じ論点のものもあります

<採点の考え方>

加点要因→キーワード (文脈の中で正しさに欠ける場合は減点)

キーワードが合ってなくても同様の意味を示せば問題なし。

減点要因→主語と述語の非対応、論理構成の誤り (原因と結果の不整合等)

後日模範解答を添削結果とともにお送りします。模範解答は建設業会計概説に従い、添削者 (弥生カレッジの横山隆志) の表現に変更する予定です。建設業経理士試験では、キーワードや法令用語であっても正式な用語を強く求められるわけではないことを意識してください。極端に言うと、間違っていなければ主語と述語だけでも 2~3 点程度はもらえるということです。(例: 減価償却の本質→減価償却とは取得原価を配分する手続きである)。試験では絶対にあきらめないでください。

過去の添削を行った感想→主語述語の対応関係が明確でない解答が数件ありました。記入した後に必ず対応関係を確認してください。また解答を列挙する場合は、できれば①②③などで箇条書きにした方が見やすくなるので試してみてください。またテキストの内容をそのまま記入されている方も数人おられましたが、できるだけ自分で考えて自分の言葉で書く練習をしてください

## <財務諸表>

(1) デリバティブ取引の代表的なものを 4 つあげるとともに、それがヘッジ手段に利用される際のヘッジ取引にかかる損益認識時点について述べなさい

※ヘッジ会計の意義についても確認しておいてください

(2) 外貨建て取引について、二取引基準と一取引基準について述べなさい

※4つの換算方法についても学習しておいてください

## <原価計算>

- (1) 建設業において事前に測定される原価にはどのようなものがあるか。またそれらのうち原価計算制度として実施されるものはどれか説明しなさい

- (2) 機械、仮設材料の使用率の決定方法について述べよ

## <財務分析>

(1) ①損益分岐点を改善する方法 ②損益分岐点と安全余裕率の関係、についてそれぞれ述べなさい

(2) キャッシュフロー項目における比率分析の意義およびその有効性について述べなさい